

2014~2015

会 報

R I 2720地区



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 2811回
2014年9月5日
第9回例会
毎週金曜日

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-2015年度 R I 会長
ゲイリーC.K. ホアン

会報編集 石蔵尚之委員長

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎@2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎@6665 ☎@6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/>

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

9月 新世代のための月間

点 鐘 鳥井正徳会長

歌 唱 ヲグリーダ― 山田仁法委員長
国 歌 「君が代」
R S 「我等の生業」

司会・進行 水野虎彦プログラム委員長

来訪者紹介 鳥井正徳会長

人吉警察署 署長 原 秀二 様
" 総務係長 浦本健太郎 様

国際ロータリー第2730地区宮崎中央RC
香川美穂子 様



会長の時間

会長 鳥井正徳

8月3日の人吉新聞の一面の見出しに、「8月の天候は、日照時間は例年の半分以下、催事は中止や延期相次ぐ」「農作物の生育にも影響」とありました。今後の気象状況が気になります。

さて本日は、5分しか時間がありませんので、かいつまんで申し上げます。

9月は青少年月間です。昨年までは、新世代育成月間でしたが、本年度から青少年育成と名

称が変わりました。しかし、ロータリーがめざす内容は変わらないと思いますし、年齢30歳までの若い人の育成を目指します。

我々ロータリアンの責務には、いろいろありますが、手続き要覧によりますと「年齢30歳までの若い人全てを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、より良き未来をもたらすための青少年の活力を高めることによって、青少年に将来への準備をさせる」と示されています。

又2012年のロータリーの友9月号で、当時の田中作次R I 会長は、「ローターアクト、インターアクト、青少年交換プログラム等のロータリーの青少年プログラムは、青少年育成委員会の重要な部分を占めます。今日の青少年は、未来のリーダーであることを忘れてはいけません。若い世代を育成し、そして彼等を新会員として迎え入れることによって、私たちは地域社会を良くし、ロータリーの未来を確かなものにしましょう。」と強調されています。

我人吉ローターアクトクラブは、安達委員長のご指導の下に、活発な活動を展開しておりますが、会員増強にも悩みがあるようでございます。私達ロータリアンは、アクトの例会にもっと積極的に参加し、協力して青少年の育成に力を入れる必要があるでしょう。例会の月報も届いています。ご協力をよろしくお願いします。又本田委員長を中心とする青少年育成委員会は、音楽を通して「心の豊かなプロジェクト」を企画されています。いわゆる小・中学校への出前音楽会です。(11月14日)青少年に本物を見せることによって細くなった青少年の体幹を付託する意味でも、大いに期待しているところです。

本日は原人吉署長の卓話がございます。よろしく申し上げます。

幹事報告

幹事 有馬宏昭

【連絡事項】

- ①RI第2720地区ガバナー事務局より、平成26年9月のガバナー月信を地区ホームページに掲載しました。第1回会員増強セミナー、西天草日日新聞第5号、ハイライトよねやまNO, 173が掲載されています。
→クラブ広報委員会・IT担当の石蔵委員長にお渡しします。

【回覧物】

- ①一般社団法人ロータリーの友事務局より、広報誌「ロータリ世界と日本」、「ロータリーあなたも新しい風に」の見本および注文書が届いています。
- ②熊本東南ロータリークラブより 創立30周年記念誌およびPDFファイルが届いています。
→参加の5名の方に配布いたします。
- ③人吉市教育長より第61回人吉球磨総合美展ポスター掲示およびチラシ配布の依頼が届いています。
- ④独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センターより広報誌「翔」が届いています。

【例会変更・取止め】

- 熊本東RC9/16→「前年度会長・幹事慰労会」のため19:00～料亭「新茶屋」
- 熊本西RC9/30→「観月例会」のため18:30～
会場：常通寺 熊本市西区二本木3丁目
- 八代東RC9/25→「八代4RC合同公式訪問例会」
場所：八代ホワイトパレス2階例会場
- 熊本南RC9/22→定款に基づき休会

会務報告

【ローターアクト委員会】 安達玄一委員長

人吉ローターアクトクラブ例会報7月8月をお配りしています。例会の様子がよくわかるように作っておりますのでご覧ください。

9月の第1例会は18日(木)ひまわり亭において午後7時半から行います。内容は、福満珠実会員(国際奉仕)卓話「世界の中の日本語」です。お時間のある方はぜひ参加をお願いします。

【親睦委員会】 委員長 下田文仁会員

9月の誕生祝い

大久保勝人会員 7日 丸尾 孜会員 9日
安達玄一会員 16日 井手富浩会員 24日
中川貴夫会員 29日



9月の結婚祝い

尾上暢浩会員 10日

【プログラム委員会】

講師紹介 石蔵尚之会員

人吉警察署長 原秀二氏 プロフィール

去る5月30日にご講話いただきましたが、改めてプロフィールを紹介させていただきます。原署長は、昭和34年4月10日生まれの54歳。菊池市のご出身で、明治大学を卒業後、昭和59年に熊本県警に入られ、県警本部警備部機動隊、警備2課長など主に警備部門で活躍され、ことし3月14日、人吉警察署長として着任されました。なお、人吉署は14年ぶり2度目の勤務となります。

また、これまでに警察庁、警視庁で皇室や総理大臣の警護、国際テロ対策に務められ、外務省に出向してネパールやニュージーランドの日本大使館の勤務経験もお持ちです。きょうは、前回に続きまして海外赴任のお話、警察官として30年のキャリアの中から貴重な体験談をお話しいただけるものと思います。

出席率報告

委員長 村山能史

本日の出席率			
会員数	63名	91.38%	
出席免除	5名	8/22出席率	77.97%
欠席者数	5名	補填数	13名
出席者数	53名	修正出席率	100%

*届け出欠席 堤正、葉山、中村、本田、中川

*出席免除会員 (b) 増田、愛甲、山本、高山、丸尾

*メイクアップ

人吉RAC；伊久美・武末・浦田・片岡・平田・齊藤・安達

水俣RC；中川・鳥井・有馬

人吉中央RC；渡辺・井手・中川

卓 話

人吉警察署長 原 秀二



こんにちは。前回、お話できなかったものを含めて30年の経験談をお話させていただきます。

県警では5つの警察署を経験し、そのほか10年間ほど他の官庁省庁に出向しました。まず

その経験からお話します。

15年ぶりの人吉署勤務となりますが、その間、ネパールとニュージーランドとタイに在外赴任していました。ニュージーランドでは、イギリスの警察に26年勤務した後、移住してきた警察官のおもしろい話があります。移住後も警察官として速度違反の取り締まりに従事していた時、ある違反者に免許証の提示を求めたら、その人はイギリスの免許証を出したそうです。つい最近移住したばかりだと知り意気投合する中で「もしかしたらイギリスの〇〇で取り締まっていますでしたか」と違反者。するとその警察官曰く「そうですよ」。生涯2回の交通違反が地球の北と南で、しかも同じ警察官につかまったわけです。そんな縁とも言うべき偶然がありました。

人吉の忘れられない思い出は、これはその後に続く縁でもあるのですが、人吉署勤務の当時は東間小学校の2年、人吉幼稚園の年長、そして入園前と子ども3人と暮らしておりまして、夏場は官舎でクワガタやセミを捕って遊んでいました。ある時、スズメのヒナを拾ってきました。「飼いたい」とせがむ子どもに「親と離れたらさみしいだろうから返そう」と話し、タオルを敷いた虫箱の中に入れて翌日ベランダに置いたところ、親と思われるスズメが2羽飛んできました。そうして「チュンチュン」と鳴きながら、こちらに向かってまるでお辞儀のような仕草をするわけです。これには感激しました。ほら喜んでいよと。現在大学生の当時年中だった子どももこのスズメの事は覚えていました。いい情操教育ができたと思っています。

その頃、在外勤務が決まりました。日本人学校がないので子どもが4年間も日本語から離れるのは不安になり、読み聞かせを始めました。スズメの話もそうですが、何とか心に響くように。童話本を100冊ほど購入していききました。読み聞かせを続けると、何に興味を示すかがわかるようになります。私もストーリーを操るように抑揚をつけながら読み、次第に感情が入ります。短い間ですがいい機会となりました。

日本語といえば東京に海外子女教育振興財団というものがあり、国語や算数、理科、社会といった教科書や問題集を海外に送ってくれます。その

中に日本の文化にかかわるもの、童謡のテープなども含まれていました。海外でそういう音楽を聞くと郷愁にかられます。日本はいいなど。外国に居て強く日本の伝統を大切に受け継がせたいものだと思います。

治安や安全は子どもの教育に欠かせません。親の愛情もそうです。まだあどけなさが残る子どもでも万引きや暴行などで逮捕されれば取り調べます。本人に問題がある場合と共にかわいそうだなと感じる事もあります。例えば小さい頃に両親が離婚し、その後まともな教育を受けさせられなかった、父親がどこにいるのか知らない、2人目の父親が暴力をふるうなど。つくづく健全な教育と愛情が必要だと感じます。離婚といえばニュージーランドでは3年間夫婦でいれば財産は折半となります。また離婚後の女性は国が面倒をみますので離婚率が高い国でもあります。ただ後見制度があり離婚後も子どもが18歳までは両親がきちんと生活を見なければなりません。父親が週末に会いに来て子どもと交流します。日本の場合はどちらかに親権が移ると「顔も見たくない」「子どもを奪いに来た」というケースがよくあります。愛情が憎しみに変わるのでやむをえない面もありますがこれもお国柄の違いでしょうか。

もちろんDVとかストーカーも少なくありません。その場合、カウンセリングが充実しているのも特徴です。夫の暴力に耐えかねて2人の子どもと逃げた女性が窃盗をはたらくようになりある福祉施設に入れられました。母親も子どももカウンセリングを経て許可がないと就職も学校にも行けない。親子を離す理由は人間の感情や性格は5歳までに決まるという考え方によるものです。日本のことわざにも似たものがありますが、つくづく幼いころの教育の大切さを感じたところです。

余談ですがニュージーランドの話をもうひとつ。人種は白人が70%くらいで他はアジアからの移民とオリジンという原住民。宗教ではキリスト教徒が60%ほどとなっています。日曜ミサの話です。人間はみな罪を持っており、だから神様が人間に試練を与える。そうした不幸や悩み事は実はその人が乗り越えられる試練であり、乗り越えると必ず幸せが訪れると…。だから、仲の良い人と仲良しになるのは犯罪者でもできるが、自分に対して敵意があるような好ましくない人にも優しく愛情をもって接しなさいというものでした。アメリカのインディアンのお話のようですが「あなたが生まれた時、あなたは泣いていたが周りは笑っていたでしょう。あなたが死ぬ時は周りが泣いてあなたは笑えるような人生を送りなさい」とも。なるほどと思いました。

外国に行く前は警視庁にいました。警護課(SP)に出向し、皆さんご存知の故橋本龍太郎氏、そして村山富市、野中広務氏らの警護に当たりました。公私を問わずひたすら要人警護、安全を守

るのが使命で一日中そばにいます。酒臭かったりニンニクの臭いをさせてはダメ、勝手にトイレにも行けないので、前日から飲酒せずお茶も極力控えます。結構大変でした。また、人間ですから大臣とSPとの相性問題もあります。SPにつらく当たる人もいて「またあなたなの」と。皇室警護は皇宮警察が担当します。昨年、熊本で開催されました豊かな海づくり大会では天皇陛下と3日間、行動を共にさせていただきました。足元の段差など、美智子妃殿下をお気づかいになられる姿など初めて知ることも多かったですね。

最後に海外勤務からお話しします。大使館、総領事館は国を代表して相手国との連絡、政治や経済の情報収集、また日本文化の広報活動など幅広い役割を担います。大使館には大使と公使、参事官、書記官、理事官、現地職員らがいます。大使公邸で行うレセプションなどの場には著名な人を招きますので、家内も着付けや華道、茶道を習得して行きました。その場では日本のコマや将棋、花札などを飾り付け伝統芸能も紹介。食事は日本酒、寿司、天ぷらが定番です。国によって違いますが大使公邸は大使館より大きいところも。また、公邸料理人は週1日の休みしかなく大使が滞在中は帰ることができません。調理師として5年の経験があり会社から推薦を受けた後、大使と面接を経て採用が決まるようです。

私の場合、教育担当として日本人の子ども数を調べて教科書を文科省に注文したり、あとは犯罪やトラブル関係はやっかいな問題が多々ありました。私の携帯電話番号は外務省のホームページに載っています。そこをチェックしている人が「今大麻を吸って、喧嘩してつかまっています」「パスポートを無くした」「詐欺にあった」と連絡してくるのです。そのほか交通事故、飛行機事故、山の遭難事故など現地警察から連絡があり、その対応に努めました。

ネパールは狂犬病があり渡航前に予防接種を行います。それでも安心できません。発病すると100%死亡します。世界で年間5万5千人、ネパールでは数千人が亡くなっています。犬といえば、現地警備員は昼間は違う仕事をして肝心の夜になると寝てしまうので当てになりません。そこでシェパードを飼いました。前任から2匹を引き継ぎ、私が新たに1匹を飼い計3匹。ところが、私の飼った犬がオスだったので一時11匹にまで増えてしまっただけで収拾がつかなくなったことも。2、3週間、一時帰国する際は使用人に犬用のコメを預けてくるのですが、戻ってくると犬がげっそりと痩せている。使用人が食べてしまっているんですね。国際電話を無断使用したりと、日本では考えられませんよね。

日本でもヒットしたドラマ「おしん」は人気でした。ネパールは男尊女卑の社会。女性は出産できなければそれだけで離婚の理由になるほどで

す。そこでドラマの主人公が苦勞する姿に共鳴するのではないのでしょうか。タイでは皆さんご存じだと思いますが物乞いする子どもの後ろにマフィアの影があり、いやなものを見かけます。

とにかく、3カ国のみですが日本の良さを発信してきました。安全や安心、教育、助け合いの心など。そうした国々から日本は尊敬されているなあと実感することができた貴重な体験でもありました。

点 鐘 鳥井正徳会長

ロータリー文庫

収蔵する文献資料は2万4,000点以上

ロータリー文庫は『ロータリー日本五十年史』を刊行する際に収集された資料の散逸防止のために、1970年「ロータリー資料室」として発足。73年には資料の有効活用を図るため「ロータリー文庫」と改称されました。

現在ロータリー文庫が収蔵している内外の文献資料は、各クラブに配布済みの「資料目録」にもあるように、2万4,000点以上にもなります。今年度中には新たな目録を発行する予定です。また、ロータリアンの皆さまのお役に立つように、85年から『ガバナー月信』に「ロータリー文庫通信」の掲載をお願いしています。ロータリーの特別月間に関するお薦めの文献や各地区大会での記念講演、資料の項目が掲載されております。どうぞ活用ください。99年に開設しましたロータリー文庫ホームページへのアクセス件数も、毎月1万件を超えてご利用いただいております。日本全国のロータリアンが利用しやすいホームページを目指しています。利用したことがいまだないというロータリアンは、ぜひ一度利用してみてください。その他、専門の職員が皆さまの資料検索のお手伝いをしますし、有料ですがコピーサービスも提供しています。（ロータリー文庫HPより）

<書籍のご案内>

「資料目録」

総括ダイジェスト版

1998～2013年

※事務局に有ります



「ロータリー・モザイク」

ハロルド T. トーマス著

松本兼二郎訳

